

## 2017年度事業報告書

2017年4月1日から 2018年3月31日まで

特定非営利活動法人ふまねっと

### 1、事業の成果

#### 1) 健康づくり支援事業

健康づくり支援事業では、全国各地のふまねっとサポーターによるボランティア活動を促進し、地域に根ざした住民主体の健康づくり活動を定着させることを目的に、①健康教室の実施、②支部活動支援、③研修会の実施と教室の訪問支援、④機関紙の発行、⑤イベントの開催を行った。

①健康教室については、(A) ふまねっとサポーターが自主的に行う健康教室、(B) 当法人が運営する「ふまねっとハウス」で開催する健康教室、(C) 市町村から委託を受けて行う介護予防教室を実施した。

(A) について、全国でボランティア活動に取り組むふまねっとサポーターは 2018年3月末日現在 4,845名に達し、全国各地で行われる健康教室には、年間延べ 38 万名の不特定多数の地域住民が参加していると推計されている。(B) について、「ふまねっとハウス」は、釧路市浦見、札幌市北 24 条（事務所移転に伴い、2017年7月で終了）で、高齢者がいつでも健康教室に参加できる機会を提供することを目的に運営しており、延べ 753 名のふまねっとサポーターが 522 回の健康教室を行い、延べ 2,535 名の地域住民が参加した。また、釧路市浦見のふまねっとハウスではこの他、困窮者に健康教室へのボランティア参加の機会を提供し、社会復帰を支援する事業と、認知症患者を地域で支えるための認知症カフェ「ふまねっとサロン」を開催した。(C) について、2017年度は釧路市、鶴居村、余市町、東京都東村山市より委託を受け、介護予防教室を合計 160 回行い、1,554 名の地域住民が参加した。担当したサポーター、インストラクターは延べ 533 名だった。

②支部活動支援では、全 9 支部でふまねっとサポーターの健康教室の指導技術の維持向上や活躍の場の拡大及び協力体制の構築を目的とした活動支援を実施した。

③研修会の実施と教室の訪問支援では、全国で 43 回の研修会を実施し、延べ 1,000 名以上のふまねっと指導者や希望者が参加し、指導技術向上と情報交換を図った。

④機関紙については、4 回発行し、会員の活動報告や、インタビュー記事、ふまねっと運動の新しいステップ、指導のアドバイス等の情報を発信した。

⑤イベントの開催では、上富良野町で 2017 年度定期総会と合わせて公開講演会を実施し、参加した 148 名の地域住民、自治体関係者及び正会員に、ふまねっと運動を通じた住民主体の健康づくりの意義や効果を伝えた。

計画していた「活動支援情報の配信」については、配信方法の検討を要したため、2017 年度内の実行は見送った。

#### 2) 地域福祉人材養成事業

地域福祉人材養成事業では、①健康づくり指導者の養成、②住民主体の健康づくり活動の啓発、③東日本大震災被災地支援を行った。

①健康づくり指導者の養成では、2017 年度は全国（北海道、岩手県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、東京都、千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、徳島県、愛媛県、佐賀県、沖縄県）でふまねっとサポーター養成講習会を 64 回、ふまねっとインストラクター 3 級養成講習会を 47 回実施し、ふまねっとサポーターを 1,009 名、ふまねっとインストラクターを 588 名養成した。

②住民主体の健康づくり活動の啓発では、市町村や医療福祉関係機関、地域団体から依頼を受け、講演会や体験会を 37 回実施し、1,585 名が参加した。

③東日本大震災被災地支援では、札幌市さぽーとほっと基金より助成を受け、宮城県石巻市や岩手県大槌町、釜石市で体験講演会や講習会、研修会等の活動を実施した。岩手県では市町村や地域団体からの協力により、3 回のサポーター講習会を行うことができた。

### 3) 研究開発普及促進事業

研究開発普及促進事業では、①健康づくり用具の製造、②運動プログラムの研究開発、③健康づくり用具、教材の販売を行った。

①健康づくり用具の製造では、ゴム製ふまねっとの製造を生活保護受給者の支援団体に依頼することで、生活保護受給者の社会参加と自立支援への貢献を図っている。

②運動プログラムの研究開発については、東京都東村山市や北海道余市郡余市町で行われたふまねつと運動教室の実施前後の歩行機能やうつ、主観的健康観等のデータ収集を行い、改善効果の検証に取り組んだ。また、認知症患者を対象としたふまねつと運動の指導方法や効果に関する研究実施の検討を行った。さらに、ふまねつと運動を国際的に普及するための仕組みの検討及び特許及び商標取得の手続きを始め、ふまねつと運動の正規利用の普及及び管理に取り組んだ。

③健康づくり用具、教材の販売については、新しく、70歳代前半までの高齢者を対象とする「じっくりステッププログラム」を作成し、販売を行った。

## 2、事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に関わる事業

定款の事業名 (定款上の事業番号)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額
健康づくり 支援事業 (1, 2, 3)	①健康教室の実施	2017.4.1～ 2018.3.31	全国	5,000名	一般地域住民延べ38万名	17,147,587円
	②支部活動支援		網走市、余市町 旭川市、石狩市 札幌市、土幌町 函館市、帯広市 由仁町	63名	支部会員1,561名、 各市町村住民	
	③研修会の実施、教室の訪問支援		全国	61名	正会員、一般地域住民1,005名	
	④機関紙の発行		全国	28名	正会員7,430名、配布希望者	
	⑤イベントの開催		上富良野町	8名	一般地域住民、正会員148名	
地域福祉 人材養成事業 (6, 7)	①健康づくり指導者の養成	2017.4.1～ 2018.3.31	全国	140名	一般地域住民、関係機関職員、 医療福祉施設職員1,597名	14,810,590円
	②住民主体の健康づくり啓発 (札幌市地域連携促進助成事業含む)		全国	49名	一般地域住民、関係機関職員、 医療福祉施設職員1,585名	
	③東日本大震災被災地支援 (札幌市さぼーとほっと基金助成事業含む)		宮城県、岩手県	14名	被災地の住民	
研究開発 普及促進事業 (8)	①健康づくり用具の製造	2017.4.1～ 2018.3.31	釧路市、韓国	7名	生活保護受給者等	10,767,401円
	②運動プログラムの研究開発		札幌市、釧路市	7名	全国の医療福祉施設職員 と利用者、全国の一般地域住民	
	③健康づくり用具、教材の販売		札幌市、釧路市	7名		

### (2) その他の事業

なし